

登録番号 第 20811 号

スタークル®顆粒水溶剤 (JA)

- 野菜、果樹、花に多彩な使用方法がある殺虫剤。
 特長： ●植物体内に浸透移行して速やかに効果を発揮。
 ●野菜のコナジラミ類、果樹のコナカイガラムシ、カメムシ類に高い効果を示します。

スタークルは三井化学アグロ(株)の登録商標です。

有効成分	ジノテフラン・・・20.0%	包装	100g×50 500g×20
その他 PRTR 該当成分	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（アルキル基C=10～14 及びその混合物）（PRTR 法第1種）・・・1.8%		
性状	淡青緑色水溶性細粒	有効年限	5年
毒性	普通物*	危険物	-

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

2020年1月29日現在の内容です。

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	-	カメムシ類	2000倍	60～150 リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)
		ウカ類 ツマグロヨコバイ	3000倍					
水田作物、畑作物(休耕地)	ヨシ、オギ、スキ、セイカアワガチウ等の多年生雑草が優占している休耕地	カメムシ類	2000倍	60～150 リットル/10a	-	3回以内	散布	3回以内
とうもろこし(子実)	-	ムギクビレアブラムシ カメムシ類	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
未成熟とうもろこし	-	アブラムシ類 カメムシ類	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
もも	-	モモヨキリゾウムシ アブラムシ類 モモヘガリガ シクムシ類 カメムシ類	2000倍	200～700 リットル/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用 用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ジノテフランを含む農 薬の総使用回数
初刈り	-	モモヨウキゾウムシ アブラムシ類 モモハゲリガ シクムシ類 カメムシ類	2000倍	200～700 リットル/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	3回以内
おうとう	-	オトウシヨウジヨウバエ カメムシ類	2000倍	200～700 リットル/10a	収穫前日 まで	2回 以内	散布	2回以内
かき	-	カメムシ類 コカカゲラムシ類 カキハナムガ アザミウマ類	2000倍	200～700 リットル/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	4回以内 (塗布は1回以内、散布 は3回以内)
マンゴー	-	チャキイロアザミウマ	2000倍	200～700 リットル/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	3回以内
小粒核果 類	-	アブラムシ類 カメムシ類 シクムシ類	2000倍	200～700 リットル/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	3回以内
ぶどう	-	カメムシ類 ブドウカキリ	2000倍	200～700 リットル/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	3回以内 (塗布は1回以内)
		フテンヒメコバイ	3000倍					
		チャキイロアザミウマ コカカゲラムシ類	1000～ 2000倍					
あけび(果 実)	-	カメムシ類	2000倍	200～700 リットル/10a	収穫14日前 まで	2回 以内	散布	2回以内
キイチフルーツ	-	カメムシ類	1000～ 2000倍	200～700 リットル/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	3回以内
びわ	-	カメムシ類 ビワキジラミ	2000倍	200～700 リットル/10a	収穫前日 まで	2回 以内	散布	2回以内
りんご	-	アブラムシ類 キモノホガ シクムシ類 ギンモノハゲリガ コカカゲラムシ類 カメムシ類	2000倍	200～700 リットル/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	3回以内
なし	-	アブラムシ類 シクムシ類 カメムシ類 ケムシ類 コカカゲラムシ類 チュウゴクキジラミ	2000倍	200～700 リットル/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	3回以内
かんきつ (苗木)	-	ミカンハゲリガ	50倍	100 ミリリットル/株	育苗期	5回以内	株元 灌注	5回以内

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
かんきつ	-	チャノキイロアザミウマ コカカバラムシ類	1000～ 2000倍	200～700 リットル/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	3回以内
		ゴマダラカミキリ	1000倍					
		アブラムシ類 ミカンハモグリガ カメムシ類 コアワナムグリ ケシキイ類 シロハエ アカカバラムシ ヤノハラムシ サホセカバラムシ シロキジラミ コジラミ類 チャノミドリヒメコバエ アバハゴトモ	2000倍					
オレンジ	-	カメムシ類	2000倍	200～700 リットル/10a	収穫前日 まで	2回 以内	散布	2回以内
ばれいし よ	-	ワタアブラムシ	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫7日前 まで	2回 以内	散布	2回以内
かんしょ	-	アブラムシ類 コジラミ類	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫3日前 まで	1回	散布	1回
トマト	-	カメムシ類	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫前日 まで	2回 以内	散布	5回以内 (培土混和及び灌注は 合計1回以内、育苗期 の株元散布は1回以 内、定植時の土壌混和 は1回以内、散布及び 定植後の株元散布は合 計2回以内)
		コジラミ類	2000～ 3000倍					
ミニトマト	-	カメムシ類	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫前日 まで	2回 以内	散布	5回以内 (培土混和及び灌注は 合計1回以内、育苗期 の株元散布は1回以 内、定植時の土壌混和 は1回以内、散布及び 定植後の株元散布は合 計2回以内)
		コジラミ類	2000～ 3000倍					

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
ブロッコリー	-	アブラムシ類 コガ	100倍	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm・使用土壌約1.5～4.0 $\frac{リットル}{10a}$)当り0.5 $\frac{リットル}{10a}$	定植時	1回	灌注	3回以内 (定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布は2回以内)
		アブラムシ類	2000～3000倍	100～300 $\frac{リットル}{10a}$	収穫3日前まで	2回以内	散布	
はくさい	-	アブラムシ類	2000～3000倍	100～300 $\frac{リットル}{10a}$	収穫3日前まで	2回以内	散布	3回以内 (定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布は2回以内)
		キジノミハシ	2000倍					
ピーマン	-	コジラミ類	2000～3000倍	100～300 $\frac{リットル}{10a}$	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
		アブラムシ類	3000倍					
		アザミヤカ類 カメシロ類	2000倍					
なす	-	コジラミ類	2000～3000倍	100～300 $\frac{リットル}{10a}$	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
		アブラムシ類	3000倍					
		アザミヤカ類 カメシロ類	2000倍					
すいか	-	アブラムシ類	2000～3000倍	100～300 $\frac{リットル}{10a}$	収穫7日前まで	2回以内	散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
とうがらし類	-	コジラミ類	2000～3000倍	100～300 $\frac{リットル}{10a}$	収穫前日まで	2回以内	散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
		アブラムシ類	3000倍					
		アザミヤカ類 ナシバエ	2000倍					
とうがらし(葉)	-	コジラミ類	2000～3000倍	100～300 $\frac{リットル}{10a}$	収穫14日前まで	2回以内	散布	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
		アブラムシ類	3000倍					
		アザミヤカ類	2000倍					

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
かぼちゃ	-	アブラムシ類 コジラミ類	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (定植時の土壌混和及び育苗トレイへの灌注は合計1回以内、散布は2回以内)
		アブラムシ類	100倍	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm・使用土壌約1.5～4.0リットル)当たり0.5リットル	定植前日～定植時	1回	灌注	
にがうり	-	コジラミ類	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
セルリー	-	アブラムシ類	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
うり類(漬物用、ただし、とうがんを除く)	-	コジラミ類 アザミヤカ類	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
		アブラムシ類	2000～3000倍					
とうがん	-	コジラミ類 アザミヤカ類	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
		アブラムシ類	2000～3000倍					
ズッキーニ	-	アブラムシ類	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	4回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
きゅうり	-	コジラミ類 アブラムシ類	2000～3000倍	100～300 リットル/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
		アザミヤカ類 ウリハムシ カメムシ類	2000倍					
まくわうり	-	アブラムシ類	3000倍	100～300 リットル/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
メロン	-	コジラミ類	2000～3000倍	100～300 リットル/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
		アザミヤカ類	2000倍					
		アブラムシ類	3000倍					

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
キャベツ	-	アブラムシ類 ヨカガ アオムシ ハイダラノメガ	50～ 100倍	セル成型育苗トレイ1箱または はペーパーポット1冊(30×60cm・使用土壌約3㍓)当り 0.5㍓	定植前日～ 定植時	1回	灌注	3回以内 (育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布は2回以内)
		アブラムシ類	2000～ 3000倍	100～300 ㍓/10a	収穫3日前 まで	2回 以内	散布	
だいこん	-	アブラムシ類	2000～ 3000倍	100～300 ㍓/10a	収穫7日前 まで	2回 以内	散布	5回以内 (は種時の播溝土壌混和は1回以内、は種時の全面土壌混和は1回以内、粒剤の散布は1回以内、水溶剤及び液剤の散布は合計2回以内)
		キジノミハシ	1000倍					
わさび	-	アブラムシ類 ナトビハシ	2000倍	100～300 ㍓/10a	畑育苗期	3回 以内	散布	3回以内
畑わさび	-	アブラムシ類 ナトビハシ	2000倍	100～300 ㍓/10a	収穫3日前 まで	3回 以内	散布	3回以内
クルン	-	アブラムシ類	3000倍	100～300 ㍓/10a	収穫3日前 まで	3回 以内	散布	3回以内
レタス	-	アブラムシ類	2000～ 3000倍	100～300 ㍓/10a	収穫3日前 まで	2回 以内	散布	4回以内 (は種前の培土混和は1回以内、育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び育苗トレイへの灌注は合計1回以内、散布は2回以内)
		ハセンヨウ	50倍	セル成型育苗トレイ1箱または はペーパーポット1冊(30×60cm・使用土壌約1.5～4.0㍓)当り 0.5㍓	定植前日～ 定植時	1回	灌注	
		アブラムシ類 ナメグリバエ	50～ 100倍					
非結球レタス	-	アブラムシ類	2000～ 3000倍	100～300 ㍓/10a	収穫3日前 まで	2回 以内	散布	4回以内 (は種前の培土混和は1回以内、育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び育苗トレイへの灌注は合計1回以内、散布は2回以内)
		ハセンヨウ	50倍	セル成型育苗トレイ1箱または はペーパーポット1冊(30×60cm・使用土壌約1.5～4.0㍓)当り 0.5㍓	定植前日～ 定植時	1回	灌注	
		アブラムシ類 ナメグリバエ	50～ 100倍					

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
ねぎ	-	アザミウマ類 ハメグリハエ類 シロイモシヨトウ タバエ ネバカ	50倍	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm・使用土壌約1.5～4.0リットル)当り0.5リットル	定植前日～定植時	1回	灌注	4回以内 (は種時の土壌混和、育苗トレイへの灌注及び定植時の株元散布は合計1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
		アザミウマ類	2000倍	100～300リットル/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	
		アザミウマ類 ハメグリハエ類 トビイロヒヨウタンゾウムシ	400倍	0.4リットル/㎡	生育期 但し 収穫14日前まで	1回	株元灌注	
		クロバネキノコバエ類 アザミウマ類	1000倍	1リットル/㎡				
わけぎ	-	アザミウマ類	2000倍	100～300リットル/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	4回以内(定植後の株元散布は1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布は2回以内)
		ハメグリハエ類	400倍	0.4リットル/㎡	生育期 但し 収穫14日前まで	1回	株元灌注	
にんじん	-	アブラムシ類	2000倍	100～300リットル/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	4回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布は2回以内)
		トビイロヒヨウタンゾウムシ クロバネキノコバエ類	400倍	0.4リットル/㎡	生育期 但し 収穫21日前まで	1回	株元灌注	
しゅんぎく	-	アブラムシ類	3000倍	100～300リットル/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
チゲンサイ	-	キジノミハムシ	2000倍	100～300リットル/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	3回以内 (は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
		アブラムシ類	3000倍					
ほうれんそう	-	アブラムシ類	3000倍	100～300リットル/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
		ウハムシトビキ						
非結球あぶらな科葉菜類(チゲンサイを除く)	-	アブラムシ類	3000倍	100～300リットル/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
		キジノミハムシ	2000倍					

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
なばな類	-	アブラムシ類	3000倍	100～300 リットル/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
		キジノミハシ	2000倍					
かぶ	-	アブラムシ類	3000倍	100～300 リットル/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
		キジノミハシ	2000倍					
だいず	-	カメシ類 ダイズサヤマバエ	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
		フタズビヒカシ	3000倍					
あずき	-	アブラムシ類	3000倍	100～300 リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
豆類(未成熟、ただし、えだまめ、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、未成熟ささげを除く)	-	アブラムシ類 ハメガリバエ類	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
えだまめ	-	カメシ類 アブラムシ類 ハメガリバエ類 ダイズサヤマバエ	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
		フタズビヒカシ	3000倍					
未成熟ささげ	-	アブラムシ類 ハメガリバエ類	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
実えんどう	-	アブラムシ類 ハメガリバエ類 ウナシジミ	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (株元散布は1回以内、散布は2回以内)
さやえんどう	-	アブラムシ類 ハメガリバエ類 ウナシジミ	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (株元散布は1回以内、散布は2回以内)
さやいんげん	-	コジラシ類 アブラムシ類 ハメガリバエ類	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (株元散布は1回以内、散布は2回以内)
モロヘイヤ	-	アザミヤカ類	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
カラ	-	アブラムシ類	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (株元散布は1回以内、散布は2回以内)
しょうが	-	クハネキノコバエ類	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (株元散布は1回以内、散布は2回以内)

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
らっきょう	-	アザミカ類	2000倍	100~300 リットル/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
にら	-	クハネ科ノコバエ類	1000倍	1リットル/㎡	生育期 但し 収穫14日前 まで	1回	株元 灌注	3回以内 (生育期の株元灌注は1 回以内、散布は2回以 内)
		ネギアザミカ	400倍	0.4リットル/㎡				
		アブラムシ類	2000倍	100~300 リットル/10a	収穫前日 まで	2回 以内	散布	
アスパラガス	-	アザミカ類 ジュウホシクハネカハムシ コジラミ類 カメムシ類	2000倍	100~800 リットル/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	3回以内
てんさい	-	アブラムシ類 テネサイモグリハバエ	2000~ 3000倍	100~300 リットル/10a	収穫7日前 まで	2回 以内	散布	3回以内 (灌注は1回以内、散布 は2回以内)
		カメノコハムシ	1000~ 2000倍					
		テネサイモグリハバエ テネサイトビハムシ	100~ 200倍	5リットル/ペーパー ポット6冊 (2.5リットル/㎡)	移植前	1回	灌注	
		アブラムシ類 テネサイモグリハバエ テネサイトビハムシ	100~ 240倍	6リットル/ペーパー ポット6冊(3 リットル/㎡)				
きゅうり (葉)	-	コジラミ類 アブラムシ類	3000倍	100~300 リットル/10a	収穫3日前 まで	2回 以内	散布	2回以内
きゅうり (花)	-	コジラミ類 アブラムシ類	3000倍	100~300 リットル/10a	収穫前日 まで	2回 以内	散布	2回以内
バジル	-	コジラミ類 アブラムシ類	3000倍	100~300 リットル/10a	収穫3日前 まで	2回 以内	散布	2回以内
しそ科葉 菜類 (しそ、バ ジルを除 く)	-	アブラムシ類	3000倍	100~300 リットル/10a	収穫3日 前まで	2回 以内	散布	2回以内
しそ(花 穂)	-	アブラムシ類	3000倍	100~300 リットル/10a	収穫3日 前まで	2回 以内	散布	2回以内
しよくよ うほおず き	-	アブラムシ類 コジラミ類	3000倍	100~300 リットル/10a	収穫3日 前まで	2回 以内	散布	2回以内
食用ニハ ラ	-	アブラムシ類 コジラミ類	3000倍	100~300 リットル/10a	収穫3日前 まで	2回 以内	散布	2回以内
食用カー ネシ ョン	-	アブラムシ類 コジラミ類	3000倍	100~300 リットル/10a	収穫3日前 まで	2回 以内	散布	2回以内

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
食用金魚草	-	アブラムシ類 コジラミ類	3000倍	100～300 リットル/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
食用パンジー	-	アブラムシ類 コジラミ類	3000倍	100～300 リットル/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
食用トレニア	-	アブラムシ類 コジラミ類	3000倍	100～300 リットル/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
食用なでしこ	-	アブラムシ類 コジラミ類	3000倍	100～300 リットル/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
食用プリムラ	-	アブラムシ類 コジラミ類	3000倍	100～300 リットル/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
食用エゾカマ	-	アブラムシ類 コジラミ類	3000倍	100～300 リットル/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
食用せんにちこう	-	アブラムシ類 コジラミ類	3000倍	100～300 リットル/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
食用コスモ	-	アブラムシ類 コジラミ類	3000倍	100～300 リットル/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
食用ぎく	-	アブラムシ類 コジラミ類	3000倍	100～300 リットル/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
しそ	-	アブラムシ類 ウハシロトビキ	3000倍	100～300 リットル/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
なんてん(葉)	-	アブラムシ類	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
すいぜんじな	-	アブラムシ類	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
アマランス(茎葉)	-	アブラムシ類	3000倍	100～300 リットル/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
ふき	-	コジラミ類	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	3回以内 (土壌表面散布は1回以内、散布は2回以内)
せり	水田	アブラムシ類	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
せり(水耕栽培)	ガラス室等の施設	アブラムシ類	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
オリーブ(葉)	-	カメムシ類	2000倍	200～700 リットル/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
茶	-	チャノボリガ チャノミドリヒメコバイ チャノキイロアザミウマ ツマグロアオカスミカメ コシロアブラムシ	2000倍	200～400 リットル/10a	摘採7日前まで	2回以内	散布	2回以内

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
さとうきび	-	アブラムシ類 カンジャコバネガカムシ サトウキビチビアザミヤ	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫45日前まで	3回以内	散布	5回以内 (粒剤は2回以内、液剤、水溶剤及び水和剤は合計3回以内)
いね科牧草	-	アブラムシ類	2000倍	100～300 リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
花き類・観葉植物 (きくを除く)	-	アブラムシ類 コジラミ類	2000～3000倍	100～300 リットル/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内 (土壌混和は1回以内)
		ハメグリハエ類	1000倍	1リットル/㎡			灌注	
きく	-	アブラムシ類 コジラミ類	2000～3000倍	100～300 リットル/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内 (土壌混和は1回以内)
		カムシ類	2000倍					
		ハメグリハエ類	1000～2000倍	1リットル/㎡			灌注	
樹木類(つつじ類、つばき類を除く)	-	ケムシ類	2000倍	100～700 リットル/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内
つばき類	-	ケムシ類	2000倍	100～700 リットル/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内 (株元灌注は2回以内)
		チャドクガ	100倍	0.5～2リットル/樹 (但し、220リットル/10aまで)		2回以内	株元灌注	
つつじ類	-	ツツジゲンハイ ケムシ類	2000倍	100～300 リットル/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
かき	コカカガラムシ類	20～40g/樹	発芽前～発芽期	1回	本剤1g当り水1mLの割合で混合し、主幹から主枝の粗皮を環状に剥いた部分に塗布する。	4回以内(塗布は1回以内、散布は3回以内)
ぶどう	コカカガラムシ類	20～40g/樹	幼果期まで 但し、収穫30日前まで	1回	本剤1g当り水1mLの割合で混合し、主幹から主枝の粗皮を環状に剥いた部分に塗布する。	3回以内(塗布は1回以内)
	クビアカカシハ	40g/樹				

については有効成分を含む農薬の総使用回数を示すものです。

使用上の注意事項

- (1) 使用量にあわせ薬液を調製し、使いきること。
- (2) ぶどうの幼果期から果粒肥大期の散布は果粉の溶脱のおそれがあるので使用をさけること。
- (3) つまみ菜・間引き菜には使用しないこと。

- (4) 本剤をセル苗に使用する際は、調製液をセル成型育苗トレイまたはペーパーポット上方から灌注すること。また、本剤が土壤に十分に吸収されないおそれがあるので処理直前や直後の灌水はさけること。なお、高温時など極度に土壤が乾燥している場合には、葉縁が退色するなど薬害を生じるおそれがあるので、本剤を処理する予定の苗は、適切な水分および温度管理に努めること。
- (5) かんきつの苗木に用いる場合は、今期に収穫見込のない苗木に対して使用すること。なお、本剤を処理してから効果を発揮するまでにある程度の期間を要するため、対象害虫の発生前に予防的に処理すること。
- (6) 本剤を使用したわさびの苗を畑地からわさび田に移植する場合には、使用した農薬がわさび田の水系に持ち込まれないよう、わさびの苗に付着した土を十分に洗い落とすこと。
- (7) 水耕栽培に使用する場合は、本剤を使用した施設からの廃液をかんがい水路、排水路、河川等には絶対に流さず、適切に処理すること。
- (8) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (9) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - 1) ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - 2) 関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供しミツバチの危害防止に努めること。
- (10) 空袋は圃場などに放置せず、適切に処理すること。
- (11) 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意すること。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

- (1) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。使用後は洗眼すること。
- (2) 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のないものが使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨

- (1) 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (2) 散布後は水管理に注意すること。
- (3) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨

通常の使用方法ではその該当がない。

貯蔵上の注意事項

直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。